

好評につき、全プログラム満席となりました。

- ・授業の見学は高校生および参加者ご本人のみの参加となります。
- ※保護者の方も来校可能ですが教室には入れませんので、ご了承ください。（保護者向けプログラムあり）
- ・複数の授業を自由に見学できます（途中入退場自由）。移動時は授業の妨げにならないよう静かにご移動をお願いいたします。
- ※一部、授業見学会用の特別プログラムを含みます。特別プログラムには本学の学生は出席しておりません。

学科名	時間	担当者	授業名	授業の概要	参加に当たっての注意
栄養学部 (栄養学科・管理栄養学科)	2限 (10:55-12:35)	土屋 京子	基礎調理学実習 I	講義(調理学)で学んだ理論について、実験(調理科学実験)で科学的に解明し、実習(調理学実習)によっておいしい食物にします。基礎調理学実習 I では日本料理を、II では西洋料理・中国料理を中心に実習します。この回はご飯物、汁物、揚げ物を実施します。	各台で実習を行っています。安全面や衛生面を考慮し、実習室への入室はご遠慮いただきます。廊下側の前後の扉よりご覧ください。
		大西 淳之	栄養生化学実験	実験を通して、糖質・脂質・タンパク質などの栄養素が、体内で特異的な酵素により消化・吸収されていく過程について理解することを目的としています。4月29日は、タンパク質分解酵素である「ペプシン」を対象とした実験となります。	実験室内での安全面を確保するため、入室時には専用の実験シューズに履き替えていただきます。実験室内での飲食は禁じています。
	3限 (13:25-15:05)	鍋谷 浩志	食品加工学実習	缶詰の製造は、220年前に発明された食品の保存技術です。半永久的に食品の品質が変化しない極めて優れた保存技術であるため、200年以上にわたってその原理は全く変わっておらず、現在も様々な食品の製造に使われています。本授業では、「さんま味付缶詰」の製造を実際に行うことにより、「缶詰」という食品保存技術の原理と特徴を学びます。	高温での熱処理や回転機器を用いた操作を伴いますので、製造機器には触れないようにしてください。高温の機器はやけどの原因となり得ますし、回転機器などに巻き込まれると大きな事故につながります。
		大西 淳之	栄養生化学実験 ※2限と同じ内容です。	※2限と同じ内容です。	実験室内での安全面を確保するため、入室時には専用の実験シューズに履き替えていただきます。実験室内での飲食は禁じています。
児童学科	2限 (10:55-12:35)	金山 和彦	幼児と表現	幼児の遊びにおける「表現」の本質を学びます。子どもの心情や発達段階に応じた素材・活動のあり方を理解し、造形表現の基礎を習得します。実際の製作体験を通じ、保育者としての適切な援助や声かけ、安全への配慮を身につけることが目的です。子どもの「やってみたい」という意欲を尊重し、豊かな感性と表現力を引き出す実践的な指導力を養います。	
		木村 美佳	子どもの健康と安全	保育者は、こどもが元気で毎日過ごせるように観察や見守りができることが大切です。『子どもの健康と安全』の授業では、子どもの体調の変化に気づくポイントや、いざという時の対応などを演習を通して学びます。実際の場面をイメージしながら体験的に学ぶので、実践で役立つ知識と力を身につけることができます。	
	3限 (13:25-15:05)	大西 明美	幼児と環境	子どもと環境(人・モノ・コト)との出会いについて、特に身近な自然とのかかわりに視点をあき学んでいきます。学生自身が五感を通して直接的な体験をすることで、子どもにとっての身近な草花や生き物と関わる意義を体験的に理解していきます。当日は、家政大の自然環境を活かして動画にまとめたグループ発表と、「みる・きく・ふれる・あじわう・かく」の五感で感じるごとの意味について解説します。	
		木村 美佳	子どもの健康と安全 ※2限と同じ内容です。	※2限と同じ内容です。	
	①11:00-11:30 ②12:00-12:30 ※授業ではありません。	—	新しい児童学科の学科説明	学科説明を行います。30分間の説明を2度実施します。お好きな方にご参加ください。	
初等教育学科 ※2限のみの実施	2限 (10:55-12:35)	阿部 藤子	国語科教育演習	4年生の選択科目です。少人数で行っています。翌月から始まる教育実習に備えて模擬授業(学生が教師役で授業を行ってみる)をしています。	
		関根 正弘	理科教育内容	理科教育内容では、小学校3年から6年生までの指導内容を現場に即した実践授業形式で学修していきます。今回は3年生の「物と重さ」の単元で、問題「形を変えると物の重さはどうなるのだろうか」と「物の種類が違うと、同じ体積の重さはどうなるのだろうか」を解決するために実験を通して追究する場面の講義です。子供たちの思考の流れに沿った授業を展開するためにどのような教師の働きかけや工夫を取り入れていくかを学んでいきます。	
服飾美術学科	2限 (10:55-12:35)	田中 早苗	アパレル生産実習	制服シャツのデザインによく用いられている「台衿付シャツ」を製作課題として、アパレル(衣服)が企画され、設計、縫製を経て完成するまでの工程の流れと技術を学びます。製作者の体型に合ったシャツを作るために、人体を計測して体幹部の原型を作成し、シャツの型紙に展開して行きます。当日は、原型が体型に適合しているか確認するためにシーチングという布で裁断し、ミシン縫製して試着しようとしているところです。	
	3限 (13:25-15:05)	富谷 智	デザイン基礎概論	この授業では、細分化されたデザイン領域から、特にファッションデザインに限定せずそれぞれの領域から考察を進め、近代からの歴史的経緯と現代デザインとの関係性を分析し、デザインの意味を探っていきます。「デザインの思考」を個々の生活や創作活動に活かせるように、現代のデザインを縦断的に読み解き、デザイン思考の本質を考察する授業です。	
		鈴木 由子	アパレルCADII	皆さんが普段着ている洋服は、売れ筋・身体・デザイン・素材等を十分考慮して作成されたパターン(型紙)を使い裁断された布が、縫いと仕上げの工程を経て作られています。こうした服が作られるまでには、複数の職種の人達がそれぞれの立ち位置で修正を重ねているので、そこには多くの労力・時間・コストがかかっています。アパレルCADソフトが、型紙作成だけに特化した、パターンと縫製の職種間のプラットフォームであるのに対し、この授業で使用している3D-CADは、デザインまでを含む職種をカバーできるもので、画面上でアバターに衣服を着装させ、修正点のチェックが容易になっています。またデザイン提案のツールとしても使用できます。この授業では3D-CADの基本的な使用方法を学修し、デザイン表現方法の幅を広げることが可能です。	
造形表現学科	2限 (10:55-12:35)	早瀬 郁恵	染色 I (3年・実習)	靨を用いて図柄を表現する基本的な染色工程と技法特有のデクスターについて、さまざまな染料と素材を用いて実習します。自由課題では、それぞれのテーマでデザイン展開を試み、計画的に作品を制作します。	
		金城 正紀	住環境デザイン I (3年・実習)	「小規模なコレクティブハウス」を制作します。住空間から住環境へ視野を広げ、現代社会で暮らすことの意味も考えます。	
		岡田 京子	育ちのための表現C (3年・実習)	小学生及び中学生に接したり絵本を制作したりしながら、造形表現の基礎的、専門的な内容について、様々なテーマ、材料、用具、場などを体験しながら、実技を通して学びます。	
		兼古 昭彦	映像メディアアート (4年・実習)	動画の様々な手法を課題制作を通して学びます。動画の持つ可能性を広く考察し、テーマに応じた手法を様々な組み合わせ課題制作を行います。	
	3限 (13:25-15:05)	黒澤 伸	美術と環境 (1年・講義)	身の回りにおける多様な表現・芸術活動について、それらが生みだされる意識的・無意識的な要因や環境との関連性を毎回異なるトピックで考察します。	
		兼古 昭彦	映像メディアアート (4年・実習)	動画の様々な手法を課題制作を通して学びます。動画の持つ可能性を広く考察し、テーマに応じた手法を様々な組み合わせ課題制作を行います。	
		山藤 仁	絵画表現 (4年・実習)	油彩表現によってオリジナルな表現を追求します。エスキース時には水性素材での表現やプロッター・ジュ、コラージュ等の技法を使用してもよいです。	
岡田 京子	育ちのための表現E (4年・実習)	言語的な表現や身体的な表現の基礎的、専門的な内容について、演劇表現、絵本の朗読、身体活動などを体験しながら実践を通して学びます。			
英語コミュニケーション学科 ※授業の見学は実施しません。	①11:00-11:30 ②12:00-12:30 ※11:30~12:00には相談を受け付けます。	—	フロリダの有名テーマパークにおける6か月インターンシップ紹介	日本の女子大学として初めて実施される、フロリダ州立大学との連携協定に基づく、フロリダのテーマパークにおける約6か月間のインターンシップについてご紹介いたします。本プログラムでは、有給でのインターンシップを通して、実践的な英語力の向上を図るとともに、本場のホスピタリティやサービスを体験的に学ぶことが可能です。また、これにあわせて、本学科の特色や学びの特徴についてもご紹介する機会を設けております。30分間の説明を2限内に2度実施します。お好きな方にご参加ください。	
心理カウンセリング学科	2限 (10:55-12:35)	福井 至 杉山 雅宏	臨床心理学を活かした実践的授業の紹介(箱庭療法室・遊戯療法室での体験・見学)	箱庭療法室・遊戯療法室・グループワーク実験実習室を見学し、どのような演習・実習をしているかを学びます。	
		青柳 千春	養護教諭を目指す学生さんたちの実習・演習(見学)	養護教諭を目指す学生さんが校内実習でどのようなことを学ぶのかを学びます。	
	3限 (13:25-15:05)	三浦 正江	①ゼミナール I	健康心理学	
		石井 国雄 沢田 真喜子	②ゼミナール I ③ゼミナール I	社会心理学 看護学	
教育福祉学科	2限 (10:55-12:35)	西岡 弥生	ソーシャルワークの基礎と専門職	共生社会における人々の多様な生活問題を包括的に捉え、効果的なソーシャルワークを実践するための基礎的な知識と姿勢を学びます。ソーシャルワークが生れた背景を知り、その歴史と理念を理解することを目指します。また、我が国におけるソーシャルワーカーの国家資格の社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義を理解し、地域社会における実践について考えていきます。	
	3限 (13:25-15:05)	柴崎 祐美	高齢者福祉論 I	高齢者の特性や生活、社会環境を理解することを目指します。次に高齢者福祉の歴史、発展過程を理解し、現在の到達点を確認する。そして、高齢者に関連する諸制度と支援の仕組みを学びます。講義の中心は介護保険制度です。介護保険は制度の安定性・持続可能性を高める観点から頻回な制度改正が行われている。改正の方向性を多様な角度から検討できるよう、制度の枠組み、基礎知識を学びます。	
文化情報学環	2限 (10:55-12:35)	ニヤマースンデリヤ 岩下 基 和田 菜穂子	異文化を理解するワークショップ	主体的な学びとして、ワークショップを実施し、国際理解を深めて知識を広げる活動を通して、コミュニケーション力を身につけていくことを目指すものです。今回の授業では、まず授業の目的や今後のスケジュールについて説明し、モンゴル文化を取り上げて紹介します。質疑応答を実施し理解を深めた後、グループワークにおいて日本文化との比較など深掘することで、モンゴル文化に関心を持ち自ら知識を広げる授業となります。	
	3限 (13:25-15:05)	和田 菜穂子	高校生向け模擬授業「地域社会とアート」	高校生限定で行う模擬授業で、グループリサーチ&造形ワークショップを体験します。13:25に教室に集合し、グループに分かれて、ワークシートをもとにキャンパス内にある樹木のリサーチを行います。その後、教室に戻り、各自ピックアップした樹木の「推しポイント」をオリジナルのラッチ制作で表現します。制作後、「推しポイント」についてプレゼンテーションを行います。	

※社会デザイン学環では授業の見学は実施しませんが、プロジェクト室の見学を実施予定です。